

2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025 年 5 月 15 日

上 場 会 社 名 株式会社コスモス調剤 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 309A URL https://www.cosmos-ph.co.jp
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 宏典
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 南川 知也 (TEL) 052 (561) 2255
定時株主総会開催予定日 2025 年 6 月 27 日 配当支払開始予定日 2025 年 6 月 30 日
発行者情報提出予定日 2025 年 6 月 27 日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025 年 3 月期の連結業績(2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025 年 3 月期	6,293	1.7	250	△ 21.4	272	△ 16.5	138	403.8
2024 年 3 月期	6,187	6.6	319	218.5	326	55.2	27	39.4

(注) 包括利益 2025 年 3 月期 138 百万円(45.6%) 2024 年 3 月期 95 百万円(△ 13.7%)

	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025 年 3 月期	45.91	—	13.9	7.9	4.0
2024 年 3 月期	11.84	—	3.9	9.5	5.2

(参考) 持分法投資損益 2025 年 3 月期 —百万円 2024 年 3 月期 —百万円

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2024 年 10 月 17 日付で普通株式 1 株につき 5,000 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025 年 3 月期	3,418	1,069	31.3	353.44
2024 年 3 月期	3,453	930	26.9	307.54

(参考) 自己資本 2025 年 3 月期 1,069 百万円 2024 年 3 月期 930 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025 年 3 月期	204	△ 249	△ 221	681
2024 年 3 月期	404	△ 91	△ 177	948

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024 年 3 月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2025 年 3 月期	—	—	—	23.00	23.00	69	50.1	7.0
2026 年 3 月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00		36.4	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025 年 3 月期配当金の内訳 普通配当 17 円 記念配当 6 円(上場記念配当)

3. 2026 年 3 月期の連結業績予想成績(2025 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,552	4.1	309	23.3	301	10.6	191	37.7	63.22

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025 年 3 月期	3, 025, 000 株	2024 年 3 月期	3, 025, 000 株
② 期末自己株式数	2025 年 3 月期	—株	2024 年 3 月期	—株
③ 期中平均株式数	2025 年 3 月期	3, 025, 000 株	2024 年 3 月期	2, 328, 082 株

※当社は、2024 年 10 月 17 日付で普通株式 1 株につき 5, 000 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外であります

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料) 3 ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年4月1日～2025年3月31日)における我が国経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかな回復が見られました。雇用・所得環境が改善する中で、今後も緩やかな回復が続くことが期待されています。一方、原材料や燃料などの物価上昇に名目賃金や所得の伸びが追いつかない中で消費者マインドの委縮、金利上昇の企業活動への影響に加えて、米国の通商政策の動向などによる景気の下振れリスクが高まっており、景気の先行きにかかる環境には依然として不透明な状況が続いております。

調剤薬局業界においては、調剤報酬および薬価改定の影響による収益力の低下、仕入環境の変化による原価率の上昇、年々厳しさを増す採用環境や物価上昇への対応としての人件費および採用コストの増大など、採算面での課題が増加しております。

このような状況の中、当社は「患者様とクリニックの懸け橋として、健康と安心に貢献するマザーカンパニーを目指します」という経営理念のもと、地域社会でのつながりを深め、患者様とクリニックの懸け橋として地域医療体制の安定と向上に貢献するため引き続き、新規出店に向けた活動、在宅・施設調剤の拡大、電子処方箋システムやお薬手帳アプリの活用推進等のデジタル化による患者様の利便性向上、および国が推進する医療DXサービスの実現などに取り組みました。また、積極的な機械化による患者様への迅速かつ正確な医薬品の提供、および薬局薬剤師の生産性向上と労働環境改善なども継続しております。

当連結会計年度における出退店状況については、新規開局により1店舗、事業譲受による取得により1店舗、M&Aによる取得により2店舗の計4店舗が増加し、閉局を1店舗実施したことにより、当連結会計期間末時点での店舗数は、前期末と比較して3店舗増加となる、計53店舗となりました。

インフルエンザ等の感染症の流行等が依然として見られる状況により、処方せん応需の状況はおおむね堅調に推移したほか、積極的に店舗数を拡大できたことにより増収となりました。一方で、調剤報酬改定により一部店舗では採算性が悪化しており、店舗数に応じた適正人員を継続的に確保するための増員、人材確保のための賃上げ等によって人件費が増加し、M&A対応コストも増加した結果、販売費及び一般管理が増加したことにより経常利益は減益となりました。前年に対して、減損損失が大幅に減少したため、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

この結果、当連結会計期間の当社グループの連結業績は、売上高6,293百万円(前年同期比1.7%増加)、営業利益250百万円(前年同期比21.4%減少)、経常利益272百万円(前年同期比16.5%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は138百万円(前年同期比403.8%増加)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は3,418百万円となり、前連結会計年度末から35百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が28百万円、土地が107百万円、のれんが70百万円増加した一方で、現金及び預金が267百万円減少したことによるものであります。

負債合計は2,348百万円となり、前連結会計年度末から173百万円減少しました。これは主に、借入金の返済による減少177百万円によるものであります。

純資産合計は1,069百万円となり、前連結会計年度末から138百万円増加しました。これは、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は681百万円となり、前連結会計年度末に比べて267百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、204百万円の収入(前年同期404百万円の収入)となりました。

主な収入項目は、税金等調整前当期純利益245百万円、減価償却費97百万円、減損損失22百万円、のれん償却額29百万円、未収入金の減少額25百万円であり、主な支出項目は、棚卸資産の増加額13百万円、仕入債務の減少額11百万円、法人税等の支払額116百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、249百万円の支出(前年同期91百万円の支出)となりました。主に、調剤薬局店舗の新規出店を主とした、有形固定資産の取得による支出207百万円、無形固定資産の取得による支出28百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、221百万円の支出(前年同期177百万円の支出)となりました。短期借入金の純増減額(減少)による支出55百万円、長期借入金の返済による支出166百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、国の財政状況の厳しい見通しから医薬品業界では毎年の薬価改定が継続しており、世界的な仕入環境の変化や円安の影響による原材料価格の高騰、若年人口の減少等による一層の採用環境の悪化も進んでいく見通しです。このような環境下、調剤薬局業界では、経営環境の悪化に対応しつつ、患者様の利便性を向上させ、医薬品の安全かつ安定的な提供を担い、医療DX推進による社会保障制度の持続可能性への貢献に努めるため、投資をともなう持続的な経営改善が求められています。当社もまた積極的なデジタル化や機械化によって、患者様が利用できるサービスの拡充と強化、安全かつ効率的に医薬品を提供できる仕組みの維持、薬局業務の品質と生産性の向上、薬剤師をはじめとする従業員の労働環境の一層の改善を続け、患者様・地域社会に選ばれ続ける会社として、社会の健康と安心に貢献してまいります。

2026年3月期の業績は、売上高6,552百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益309百万円(同23.3%増)、経常利益301百万円(同10.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益191百万円(同37.7%増)を見込んでおります。

なお、上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断した一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、今後の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績を勘案した安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

上記の配当方針、および財務体質の状況等を総合的に勘案し、2025年3月期の1株当たりの配当金につきましては、普通配当を17.00円とすることにいたしました。また当社は、2025年1月8日にTOKYO PRO Market に上場しました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すため、1株当たり6円の記念配当を実施いたします。この結果、年間配当金は1株当たり23.00円となります。

2026年3月期の配当につきましては、1株当たり配当金を23.00円(期末配当)の予定としつつも、より一層の業績向上を図ることで株主の皆様へ還元できるように安定配当・増配を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月31日)	当連結会計年度 (2025年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	948	681
売掛金	36	33
商品及び製品	329	357
未収入金	905	905
その他	24	34
流動資産合計	2,244	2,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	426	431
機械装置及び運搬具(純額)	2	0
工具、器具及び備品(純額)	89	77
土地	160	267
建設仮勘定	10	25
有形固定資産合計	688	802
無形固定資産		
のれん	186	256
その他	32	31
無形固定資産合計	218	288
投資その他の資産		
長期貸付金	14	12
繰延税金資産	70	81
その他	216	220
投資その他の資産合計	301	314
固定資産合計	1,209	1,405
資産合計	3,453	3,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月31日)	当連結会計年度 (2025年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714	727
短期借入金	85	30
1年内返済予定の長期借入金	99	82
未払法人税等	67	64
賞与引当金	100	110
資産除去債務	—	1
その他	248	211
流動負債合計	1, 315	1, 228
固定負債		
長期借入金	806	700
退職給付に係る負債	7	9
役員退職慰労引当金	277	289
資産除去債務	114	119
その他	0	0
固定負債合計	1, 207	1, 120
負債合計	2, 522	2, 348
純資産の部		
株主資本		
資本金	30	30
資本剰余金	434	434
利益剰余金	465	604
株主資本合計	930	1, 069
純資産合計	930	1, 069
負債純資産合計	3, 453	3, 418

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	6,187	6,293
売上原価	3,443	3,471
売上総利益	2,744	2,822
販売費及び一般管理費	2,425	2,571
営業利益	319	250
営業外収益		
補助金収入	12	26
その他	4	5
営業外収益合計	16	31
営業外費用		
支払利息	9	9
その他	0	0
営業外費用合計	9	9
経常利益	326	272
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
減損損失	116	22
解約違約金	—	5
その他	6	0
特別損失合計	123	28
税金等調整前当期純利益	204	245
法人税、住民税及び事業税	97	113
法人税等調整額	11	△ 7
法人税等合計	109	106
当期純利益	95	138
非支配株主に帰属する当期純利益	67	—
親会社株主に帰属する当期純利益	27	138

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	95	138
包括利益	95	138
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	27	138
非支配株主に係る包括利益	67	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	30	—	437	467
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			27	27
株式交換による増加		434		434
株主資本以外の項目の当期変動額				—
当期変動額合計	—	434	27	462
当期末残高	30	434	465	930

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	367	834
当期変動額		
親会社株主に帰属する当期純利益		27
株式交換による増加		434
株主資本以外の項目の当期変動額	△ 367	△ 367
当期変動額合計	△ 367	95
当期末残高	—	930

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	30	434	465	930	930
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			138	138	138
株主資本以外の項目の当期変動額					
当期変動額合計	—	—	138	138	138
当期末残高	30	434	604	1,069	1,069

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4 月 1 日 至 2024年 3 月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4 月 1 日 至 2025年 3 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	204	245
減価償却費	110	97
減損損失	116	22
のれん償却額	35	29
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	12
受取利息及び配当金	△ 0	△ 1
支払利息	9	9
固定資産除売却損益(△は益)	2	△ 1
売上債権の増減額(△は増加)	11	3
未収入金の増減額(△は増加)	△ 54	25
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 19	△ 13
仕入債務の増減額(△は減少)	35	△ 11
その他	13	△ 98
小計	482	328
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△ 9	△ 9
法人税等の支払額	△ 68	△ 116
営業活動によるキャッシュ・フロー	404	204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 103	△ 207
無形固定資産の取得による支出	△ 4	△ 28
差入保証金の差入による支出	△ 18	△ 3
差入保証金の回収による収入	5	1
連結範囲の変更を伴う子会社株式取得による収入	—	5
その他	30	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 91	△ 249
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 85	△ 55
長期借入金による収入	45	—
長期借入金の返済による支出	△ 137	△ 166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 177	△ 221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136	△ 267
現金及び現金同等物の期首残高	812	948
現金及び現金同等物の期末残高	948	681

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは調剤薬局関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	307円54銭	353円44銭
1株当たり当期純利益	11円84銭	45円91銭

(注) 1. 2024 年 10 月 17 日付で普通株式 1 株につき 5,000 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり純資産額」及び「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	27	138
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	27	138
普通株式の期中平均株式数(株)	2,328,082	3,025,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。